

# 水稻生育情報 (No.1)

令和6年6月3日

茨城県 県西農林事務所 経営・普及部門  
(筑西地域農業改良普及センター)

## 【気象と生育の概況】

本年の4～5月の気象は、日平均気温が平年より高く（平年+2.4℃）、まとまった降雨が多いものの降水量は平年よりやや少ない（平年比94%）、日照時間は平年並（平年比100%）であった（5月30日現在）。

5月30日現在の水稻定点調査における管内の「コシヒカリ」の生育状況は、草丈は平年並、茎数は平年より多く、葉色は平年並～やや濃い状況です。

表1 水稻定点調査結果（5月30日現在：コシヒカリ）

調査地点	田植日 〔月日〕	植付株数 〔株/坪〕	草丈 〔cm〕	茎数 〔本/m <sup>2</sup> 〕	葉色 〔葉色板〕	〔SPAD値〕
筑西市	5月6日	50	29	190	4.5	39.5
一本松	(5月4日)	(52)	(31)	(136)	(3.9)	(34.9)
桜川市	5月8日	51	25	112	3.8	34.1
真壁町飯塚	(5月6日)	(51)	(27)	(108)	(4.0)	(35.1)
下妻市	5月3日	46	29	202	4.8	43.0
加養	(4月30日)	(47)	(31)	(164)	(4.8)	(39.6)

※( )内は令和元年～令和5年の5カ年平均値

## 【今後の栽培管理のポイント】

### ●イネ縞葉枯病について

感染すると葉が縞状に黄色くなり、分けつ期には葉先がこより状に垂れ下がり枯死し(写真)、枯死しなかった茎でも穂が出すくんで奇形となり不稔となるため減収します。

ヒメトビウンカ（以下、ウンカ）が媒介するウイルス病で、発病した後の治療法がないため、ウンカを対象とした防除が重要です。



写真：イネ縞葉枯病の症状

### 本田防除について（茨城県病害虫防除部、病害虫発生予報6月号より）

本年の気温は4月から高めに推移しており、水田でのウンカの防除適期が早まる見込みです。水田におけるウンカの防除適期は平年より早く、5月31日現在、下館アメダス地点では6月5日～6月12日(平年値より8日早い)と予測されています。

●中干しについて

- ・分げつ盛期になると茎数は急激に増えるので、中干しの適期を逃さないようにしましょう（表2及び写真参照）。過剰な分げつは無効分げつや倒伏を助長します。
- ・中干しすることで田面を固め、収穫直前まで落水時期を遅らせても機械作業に必要な地耐力が確保できます。落水を遅らせることで乳白粒の発生抑制や千粒重の増大にもつながります。
- ・中干し期間中は葉色が低下しますが、追肥は控え、穂肥まで待ちましょう。

表2 中干しの時期と方法（コシヒカリ）

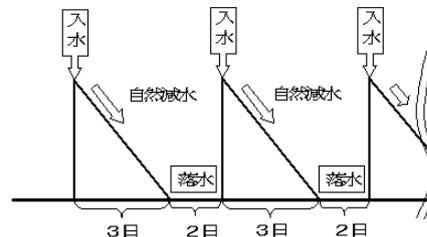
開始時期	茎数330本/m <sup>2</sup> 程度となったとき（坪60株で18本/株、坪50株で22本/株）、田植35日後が目安
実施期間	葉色が濃い場合（葉色値で4.5以上）15～20日間 葉色が薄い場合（葉色値で4.5程度）10～12日
終了時期	葉色が4.0程度に落ちた時期 幼穂形成期（幼穂長1～2mm、出穂の25日前頃）までには終了
中干し程度	田面に亀裂が生じ、軽く足跡がつく程度 水持ちの良い水田では強め、水はけの良い水田では弱めに実施



写真：中干し開始適期のコシヒカリ  
茎数 20 本/株程度

【中干し後出穂前までの水管理について】

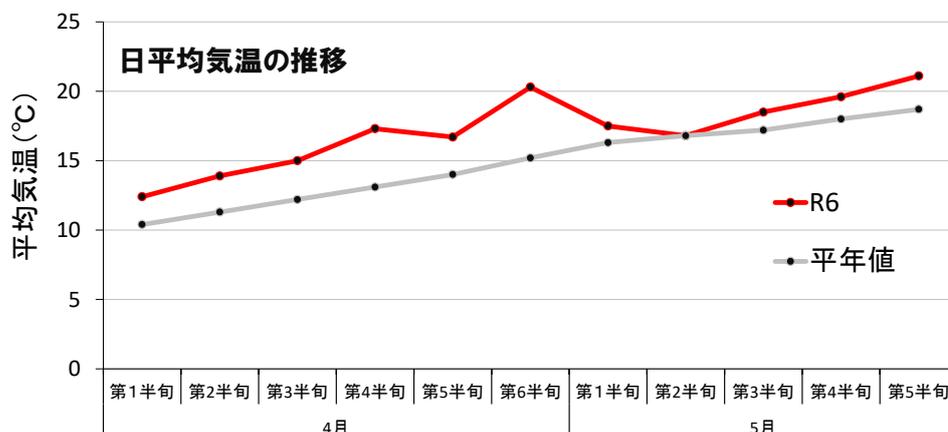
- ・中干し後のイネの根は畑作物に似た形質を示し、常時湛水で管理していると根腐れを起こす危険が高まるため、根の活力保持のため間断かん水を行いましょう。
- ・2～3日湛水し、自然落水後落水状態を1～2日程度保つサイクルを繰り返します。落水時には田面が多少乾いても問題ありません。



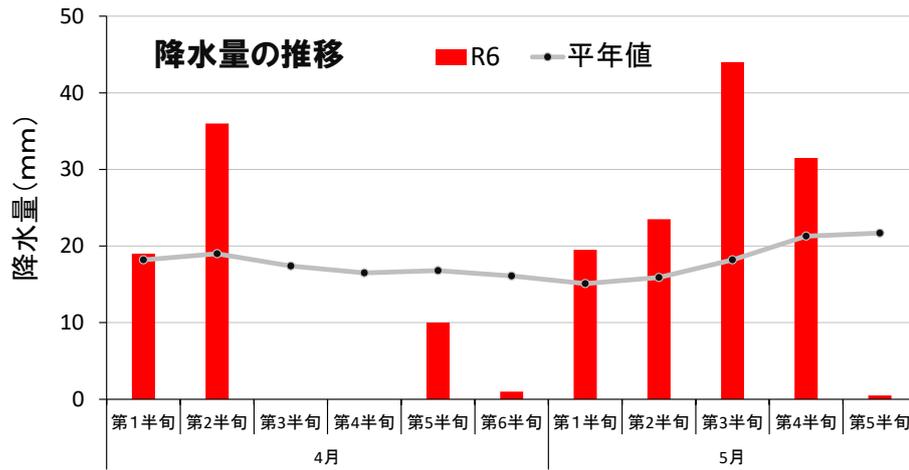
※間断かん水の一例

参考（気象データ：アメダス下館地点。平年値は1991～2020年の値。）

①日平均気温



## ②降水量



## ③日照時間

